

7 環境計画

省エネルギー・省資源対策

- ・断熱・遮蔽性能の高い窓ガラスの設置や、屋内外の温度差を利用した室内換気により、空調のエネルギー使用量を低減
- ・庇（ライトシェルフ）を用いた自然採光により照明用電力の使用量を低減
- ・センサー制御による調光・消灯や、コージェネ発電の廃熱利用によりエネルギー使用量を低減
- ・豊富な地下水の雑用水としての使用や、雨水を植栽散水に用いるなど、水資源を効果的に利用
- ・複数の熱源機の効率的な組み合わせや、エリア毎の空調システム導入により、空調のエネルギー使用量を低減
- ・エネルギー使用状況を管理・分析し、効率的な設備運転を行うビルエネルギー管理システム（BEMS）を導入

ライフサイクルコストの低減・長寿命化

- ・LED照明や長寿命型蓄電池といった耐用年数の長い機器の導入
- ・行政需要の変化に伴うレイアウト変更に対応できる空間構成（アウトフレーム工法）
- ・耐久性のあるPCパネルや乾式施工によるタイルを外壁に使用
- ・設備のメンテナンスや更新が容易となる、専用の機械棟を設置

再生可能エネルギーの活用

- ・日照時間の長い地域特性を活かした、太陽光発電や太陽熱利用設備の導入
- ・年間を通じて温度の安定した地中熱※や地下水を空調用熱源に活用
※クール・ヒートトレンチ(地下溝)を通して予冷・予熱された空気を空調機に取り入れる形で地中熱を空調熱源に活用

建築物の環境性能評価

- ・建築環境総合性能評価システム（CASBEE）において、最高「Sランク」を取得
- ・建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）において、「四つ星」を取得

